

## だがしや楽校@第105回山王ナイトバザール：山形県鶴岡市発

日時：2011年7月16日（土曜日）18:30～21:00

場所：山形県鶴岡市山王商店街

2011年7月16日（土曜日）晴れ

### 【だがしや楽校@第105回山王ナイトバザール】

今年は3回目、通算では第105回目の“山王ナイトバザール”が開かれました。

山形県鶴岡市の中心商店街のひとつ“山王商店街”にて、1994年（平成6年）より、毎年5月～10月の第3土曜日の夜に開催している“山王ナイトバザール”は、“だがしや楽校”が開かれていることもあり、米沢市在住の私（山口）にとっても身近な存在となり、年に1回どころか、年数回は取材しないと気が済まない存在となりました。

これは、私が“だがしや楽校”普及事業に取り組む以前から、“だがしや楽校”仲間でもあり、NPO仲間でもある鶴岡市の阿部等さんから取材を依頼され、長年にわたり“だがしや楽校@山王ナイトバザール”を取材し続けたことによります。

つまり、“だがしや楽校@山王ナイトバザール”は、“だがしや楽校”を取材し、それを報告にまとめ、インターネットを通じて情報を発信し、“だがしや楽校”の本質とは何かを伝える、という私（山口）が“だがしや楽校”でやりたいと思ってきたことを実践し、実績を積み重ねることができた場のひとつだったのです。

この積み重ねが、現在の“だがしや楽校”普及事業での活動、“だがしや楽校”コーディネーターとしての活動につながっているわけです。

そんな私にとっても大切な“だがしや楽校@山王ナイトバザール”ですが、今年は5月・6月と所用が重なり、この日が今年初めての取材となりました。

それでは、“だがしや楽校@第105回山王ナイトバザール”をお伝えしましょう。



7月11日に梅雨明けした山形県ですが、鶴岡市も毎日暑い日が続いています。

この日も、夕方になっても、暑いままです。熱気が溢れる中、“第105回山王ナイトバザール”は始まりました。

この日も大勢の市民が訪れていましたが、いつものように歩行者天国ではありません。車は歩行者をぬうように走行します。写真では昼のように明るく見えますが、午後7時をすぎたの撮影です。左奥に木立が見えますが、ここが山王日枝神社です。



写真左は山王商店街の南端から望んだもので山王商店街の北端に位置する山王日枝神社までの距離は約300メートルです。

また、写真右の道路左側に見える建物は、今年の5月20日にオープンしたばかりの“さんのお夢ほっと”です。“さんのお夢ほっと”は、道路改修工事に伴い、山王商店街の有志によって設立した山王まちづくり株式会社（代表：三浦山王商店街振興組合理事長）が、経済産業省の補助事業採択を受け、山王商店街のにぎわい創出に向けたまちづくり事業の一環として、山王日枝神社の南側に建設したものです。

今年1月に着工し、4月のオープンを目指しましたが、東日本大震災により、1ヶ月遅れのオープンでした。

建物は鉄骨2階建て約390平方メートル。駐車スペースは16台分あります。1階はパン屋さんとスイーツ屋さん。2階は飲食店です。実はこの取材の前、2階の飲食店で開かれた阿部さんが常務理事を務めるNPOのミーティングに出席していたのであります。

名前の“さんのお夢ほっと”は、公募によって決められました。



午後8時をすぎますと、写真でも上空は真っ暗に写りますが、まだまだ大にぎわいです。夜になっても暑いからでしょうか、まだまだ熱気に包まれています。

山王日枝神社の境内では、スイートサウンズコンサートが行われ、音楽ファンを魅了していました。私（山口）が「良いな～」と思うのは、音楽は境内に響き渡りますが、商店街にはほとん

ど音が漏れていないことです。つまり、“山王ナイトバザール”の雰囲気壊していないのです。

数年前、なぜ“ナイトバザール”なのかを、三浦さんにインタビューしたことがあったのですが、その時の三浦さんの答えは「昔ながらの商店街の雰囲気を醸し出したかったから」でした。

音楽はイベントの一部なのに、大音量にしてしまって、イベント全体を食ってしまっているケースを見るたびに気になる私ですので、こういう配慮は本当に素晴らしいと思います。

それでは、この日の“だがしや楽校”を紹介します。

## ▼紙芝居



創作紙芝居劇団“だだちゃまめ”のNさんによる紙芝居です。6月25日・26日の“だがしや楽校@子育て応援団すこやか2011”に続いての登場です。



この日もクイズやなぞなぞを交えての楽しい口演です。特に夜8時からの口演では“桃太郎”と“黄金バッド”の豪華二本立てでした。

次に、東北芸術工科大学の学生さんたちが出された2つのおみせをご紹介します。中心は、大学院のY nさんです。

“だがしや楽校普及事業ビデオ”では案内役を務めたY nさんとは、4月22日の“だがしや楽校@石巻市立湊小学校”以来です。Y nさんはその後も被災地で“だがしや楽校”を開いています。また、私が取材できなかった今年の“だがしや楽校@山王ナイトバザール”にも参加しています。

## ▼てづくりたいよう



大きな紙の上で、ちぎった紙片を放り投げて、落ちたところにノリで貼り付けたり、自由に描いたりして、みんなで太陽をつくろうというおみせです。みんなで1つのものをつくろうというこれこそ「絆」や「つながり」を大切にした遊びのように感じました。



大きな紙とは和紙のことです。和紙は相当丈夫で、みんなで1つのものを作るには、もってこいです。



“らくがき自由帳”と言い、Y nさんが考えられる遊びには、私（山口）も学ぶべきことが、まだまだたくさんあることを痛切に感じます。

## ▼スタンプでポストカードづくり



お馴染みになってきた消しゴムスタンプによるポストカードづくりです。この日も大人気の屋台となり、“山王ナイトバザール” 終了時刻の午後9時をすぎても、大勢の子どもたちが真剣になって遊んでいました。



女の子だけでなく、大勢の男のお子さんも楽しんでいきました。子どもって、お絵描きも大好きですし、スタンプ遊びも大好きです。

## ▼なぞなぞミニ Book

鶴岡のMさん提供による“なぞなぞミニ Book”のおみせです。



問題と答えが書いてある紙を切りながら、ミニ Book を作ります。余白がたくさんありますので自分で問題を書いたり、答えを書くこともできます。



子どもたちには、問題や答えを考える方が楽しいですし、それが発想力の育成にもつながっていきます。

### ▼かえっこバザール

鶴岡の“だがしや楽校”ではお馴染み、おもちゃのかえっこコーナーです。“だがしや楽校”でいっぱい遊んだり、要らなくなったおもちゃを持ってくると、おもちゃとかえっこできます。



子どもの体験広場普及員の Doi さん、すっかり子どもたちのお姉さんになっていました。

いつもの“山王ナイトバザール”では、午後8時をすぎますと、徐々に人出は減ってくるのですが、この日は夜になっても暑かったためか、いつまでもにぎわっていました。

その中でも特に“だがしや楽校”は午後9時をすぎても大勢の子どもたちが遊んでいました。安心して、そして普段は遊ぶことができない山形から来られた学生のお兄さん・お姉さんたちと一緒に遊ぶことができる“だがしや楽校”は、子どもたちも魅力的な存在なのでしょう。

全国の中心商店街では、にぎわいづくり・活性化に苦慮しているようですが、私などは「どうして“だがしや楽校@山王ナイトバザール”を参考にしないのかな？」と常々思っています。

中心商店街の活性化とは、意外に難しいものではありません。逆に、難しく考えたり、お金をかけようとするから大変になるのです。そういう意味でも、“だがしや楽校”を取り入れた鶴岡・山王商店街の取り組みを多くの商店街関係者にご覧いただきたいと思います。

企画・制作・編集・文責

山口充夫（だがしや楽校コーディネーター）